



舞台上で披露される息の合った華麗な踊り

日ごろの練習の成果を披露

■第9回牧之原市文化祭 芸能発表会

市文化祭「芸能発表会」が10月5日、い〜らで行われました。

市文化協会の会員による発表会で、総勢39組の個人や団体が出演。歌やダンス、三味線、剣舞、吟詠、民舞など、日ごろの練習の成果を披露しました。

踊りを発表した参加者は、「発表のときはとても緊張しました。こうした緊張感を体験できて楽しかったです。これからも仲間と一緒に踊りを続けていきます」と意気込みを話してくれました。

メジャー大会への登竜門

■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2014」が10月12日から19日まで、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開かれました。

本大会は、日本女子選手が世界で活躍することを願い創設された、メジャー大会への登竜門と位置付けられる国際テニス連盟公認の国際大会です。

シングルス決勝では、タチアナ・マリア選手(ドイツ)が青山修子選手を破って優勝。前日のダブルス優勝に続き、今大会2冠に輝きました。



優勝したタチアナ選手の豪快なサーブ

海運興隆と海上安全を祈願して

■神明神社の御船神事

市指定無形民俗文化財「神明神社(細江)の御船神事」が、10月12日に行われました。

この神事は、海運興隆と海上安全を祈願する伝統行事で、江戸時代後期から続いています。

長さ2.6メートルの御船を、「船若」と呼ばれる地域の青年が担ぎ、「ヤッサー、コラサー」の掛け声に合わせて、激しく前後させていきます。

船が荒波を越えていく様子を再現した姿は勇ましく、訪れた人たちは大きな歓声を上げ、盛んに拍手を送っていました。



船若による練りが披露された神明神社の御船



出張商店街で買い物を楽しむ来客者

地元商店の魅力にふれる

■まきのはらマキティーワクワク商店街

10月26日、「まきのはらマキティーワクワク商店街」が、市史料館で開かれました。

普段買い物に行くことができない高齢者らに買い物を楽しんでもらうとともに、地元商店をPRするために市商工会が実施しました。

会場には、衣類や雑貨などを扱う市内の約30店が出店し、買い物かごを持った大勢の人たちでにぎわいました。

来客者は、「知らないお店は新鮮に感じ、つい、たくさん買ってしまいました」と喜んでいました。



手作り商品などを販売するこづつみ作業所の皆さん

保健や福祉を身近に

■さざんかふれあい広場

さざんかふれあい広場が10月5日、さざんかで開かれました。

保健や福祉を身近に感じてもらいながら、子どもや高齢者、障がい者など地域住民の誰もが楽しめる「ふれあいの場」を提供しようと、市社会福祉協議会が毎年開催しています。

会場には、福祉施設やボランティア団体などによる約30の活動紹介ブースや模擬店が並びました。また、須々木幼稚園児による合唱や榛原高校吹奏楽部のコンサート、はいばら太鼓の演奏なども行われました。

当日は雨にも関わらず、約1,000人の来場者がふれあいを楽しみ、会場は大いににぎわいました。

きれいな海を未来に残そう

■ラブ・ジ・アースミーティング23rd

全国のバイク乗りが地球環境保護活動として展開している「ラブ・ジ・アースミーティング」が10月25日、静波海岸で開かれました。

通算で23回目、本市では8回目となる今回は、台風18号、19号で打ち上げられた大量の流木やごみなどをバイク愛好家や地域住民など、約1,000人で拾い集めました。

参加者は、「流木がたくさんあって大変でしたが、少しでも海岸をきれいにすることができて良かったです」と話してくれました。



袋いっぱいにごみを回収する参加者たち



北川正恭教授による講演を聞く「茶々若会」メンバー

私たちのまちは、私たちがつくる

■地域の絆づくり事業講演会

10月29日、元三重県知事の北川正恭教授(早稲田大学大学院)による「私たちのまちは、私たちがつくる」と題した講演会がい〜らで行われました。

全地区から推薦された若者でつくる「茶々若会」のメンバー約50人が出席し、若者や女性が地域のまちづくり(自治)に関わることの大切さなどを学びました。

講演を聞いた参加者は、「まちづくりは、一人一人の情熱が大事だと感じました」と感想を話してくれました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp